

クリスマスはイエス様のお誕生日です。本日みんなでおめでとうのお祝いをいたしました！

「こどものもり」のクリスマスはサンタクロースからのプレゼントではなく、本来のクリスマスの話を伝えていく日と考えて、ゆっくりと静かな流れの中で行ないます。12月に入り、成道会（お釈迦様のお悟りの会）が終わり、少しずつ園全体がステキなクリスマスの雰囲気になっていきました。『太陽のお部屋はカーテンを引いて薄暗い中、中央にヨセフとマリア、そして白い布に包まれた赤ちゃんのイエスさまの人形が、又子どもたちがこの日の為に焼いたクッキーや園の木の実に飾ったクリスマスツリーが飾られています。』最初に年長児と先生の代表によるちょっと緊張してのキャンドルサービスと先生方の「きよしこの夜」の歌で始まりです。お祝いに子どもたちによる歌や合奏、そして先生方のハンドベル



のすてきな音色に耳を傾けました。ちょっとオシャレをした子どもたちと先生たちや父母の会の役員のお母さま方と一緒にいつもとちがう厳肅な雰囲気の中でイエス様のお誕生のお祝いが行われました。



ランチルームのテーブルには小さなツリーとキャンドルが灯り、ランチタイムです。（ちゅうりっぷ・こすもす組もテーブルにキャンドルを灯

してのランチタイムでした）

「クリスマスは赤い洋服のサンタさんが出てきてプレゼントやケーキだけのお祭り騒ぎではなくイエス様が生まれたお祝いの日であることを子どもたちに伝えていきます。

（当園での多くの行事は出来るだけ「本当の意味」をやさしくわかりやすく伝えていきたいと思って取り組んでいます。）

「こどものもり」の子どもたちはみんなに愛されて、祝福されて育て



てきていることをこのようなお祝いを通して感じ取れることを願っています。

自分がお祝いしてもらってうれしい気持ちを今度は他のためへのお手伝いに向けていかなければと思っています。いつもの太陽のお部屋と違う雰囲気の中、少し緊張して集いに参加することや上品な心持でいねいに生活する体験やみんなに認められ信頼される生活ができれば、大人になって社会に出てもマナーやその場の雰囲気に対応できる魅力ある人になっていけるのではないかと考えています。更にはどの子のお誕生の喜びもみんなて心から「おめでとう」と言える気持ちや自分の周りのたくさんの人たちに守られていることに感謝する気持ちも身につけていければと思います。こどものもりではこのような体験を通して温かな心、感謝の心、思いやりの心が育つように願っています。（ご家庭でもいねいな子育てに心がけていきましょう！）



プログラム

- キャンドルサービス入場
- すみれ組代表と先生代表
- 1.うた「きよしこの夜」 先生
- 2.うた「おほしがひかる」
- 3. お話 理事長
- 3.合奏 「お星が光る」
- 4.ハンドベル演奏 「もろびとこぞりて」 先生
- 5. 理事長先生の英語のうた 「White Christmas」
- 6.お家の方へのプレゼント クッキー
- 7.園児へのプレゼント紹介
- 8.うた We wish a Merry Christmas

父母の会より良い子へのプレゼント・・・

役員さん方が考えてくださり、年齢別に選んだお家の大人の方々に読んでいただき、ふれあいの時となるように選んでいた「絵本」は太陽の部屋の「もみの木」の下の白い雪に覆われてプレゼントがありました。（ちゅうりっぷ組：がたんごとん・こすもす組；もりのてぶくろ・年少と年中；もりのかくれんぼ 年長；エルマーのぼうけん）

どうぞ子どもたちに大人の方が読んであげてください。



また本日のお祝いにとデザートはキャンドルの灯ったテーブルの光を囲んだ温かな雰囲気の中で、ほしぐみとそらぐみは昼食後に、こすもす組はおやつの時にケーキを、ちゅうりっぷ組は飾りを付けたマドレーヌをおいしくいただきました。ありがとうございました。

子ども達から愛する人へのプレゼントは・・・

「たくさんステキな気持ちをいただいているお礼に、お家の方へのプレゼントは何にしようか」と子どもたちとの話し合いの中で今年も「クリスマスのクッキーを焼いてあげる！」ことになりました。「すみれ組が焼いて、年中と年少で袋に詰める。」と決まり、毎日午前と午後ランチルームで焼きました。本日子どもたちからの心のもったクッキーを持ち帰りますので、ご家族で感謝してお召し上がりください。



お知らせ： ほし組・そら組共に本日持ち帰りました絵本袋を明日にお持ちください。